

TOTO

バック付掃除用流し

SK22A

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意

(安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

 警告

 必ず実行	バックハンガー固定ねじ取り付けの合板は12mm以上で施工すること 陶器が落下し、けがをするおそれがあります。
---	---

 注意

 禁止	陶器にかたい物を落とさない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	陶器にお湯を注がない この陶器流しは耐熱性がありません。お湯を使用しますと、陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

流し本体	その他
 (1個)	 施工説明書 (1枚)

別途発注部品

床排水		壁排水	
品 番	品 名	品 番	品 名
T23AEU20 ※1	送り座付き横水栓	T23AEU20 ※1	送り座付き横水栓
T37SEP	排水金具	T37PE	排水金具
T9R	バックハンガー	T9R	バックハンガー
TN114X ※1	止水栓(呼び径20)	TN114X ※1	止水栓(呼び径20)

※1 サイズ違いの呼び径13 (T23BEN13) の場合は、TN114ー1Xを使用ください。

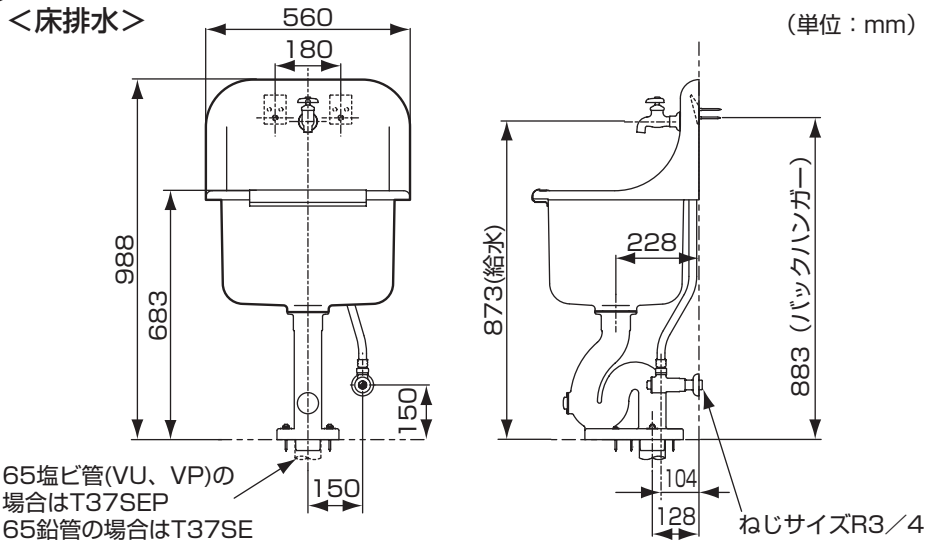
T37SEP (排水金具) [床排水用] (塩ビ管用)					TN114X (止水栓)		
Sトラップ	VU管用アダプター	排水本体部	フランジ	Pシールガスケット	フレキ管	止水栓	
 1個	 1個	 1個 Uパッキン、 発泡パッキン付き	 1個	 1個	 1個	 1個	
ナット	Tボルト	ワッシャー (大)	ワッシャー (小)	木ねじ (大)	木ねじ (小)	連結管	つば付きナット
 2個	 2個	 2個	 2個	 2本	 2本	 1個	 1個
T37PE (排水金具) [壁排水用] (鉛管用)					パッキン	カバー	スリッワッシャー
Pトラップ	取付座	排水本体部	フランジ		 1個	 1個	 1個
 1個	 1個	 1個 Uパッキン、 発泡パッキン付き	 1個				
Pシールガスケット	ナット	Tボルト	ワッシャー (大)	木ねじ (大)	T23AEU20 (送り座付き横水栓)		
 1個	 2個	 2個	 2個	 2本	 1個		
					T9R (バックハンガー)		
					 2セット		

完成図

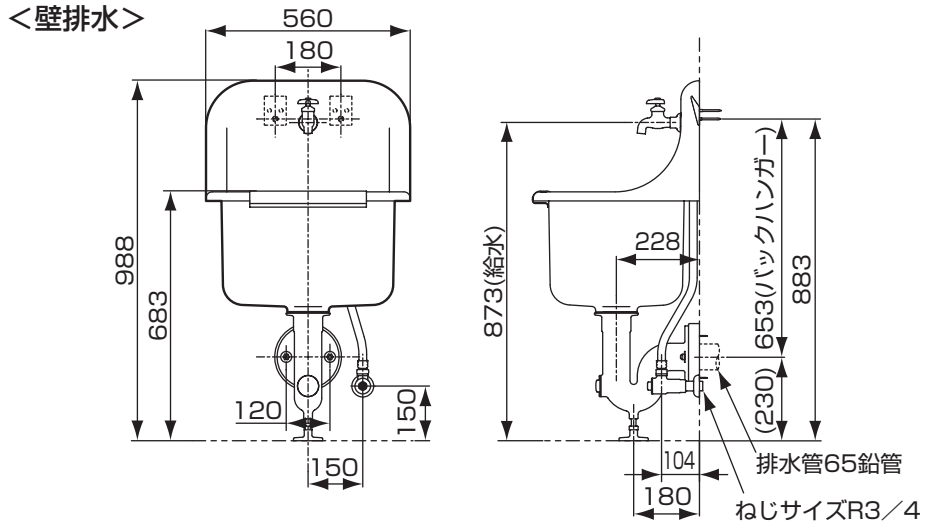
専用給水ホースによる場合

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

<床排水>



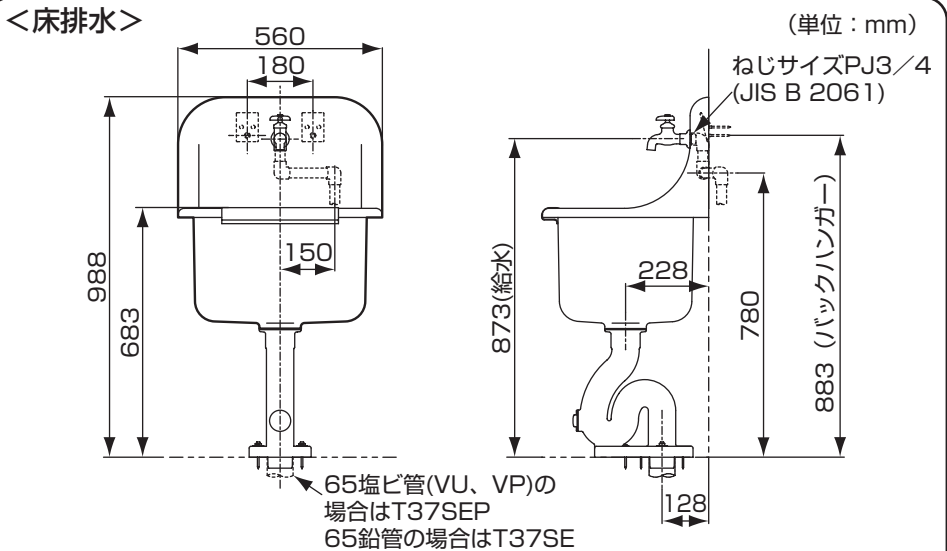
<壁排水>



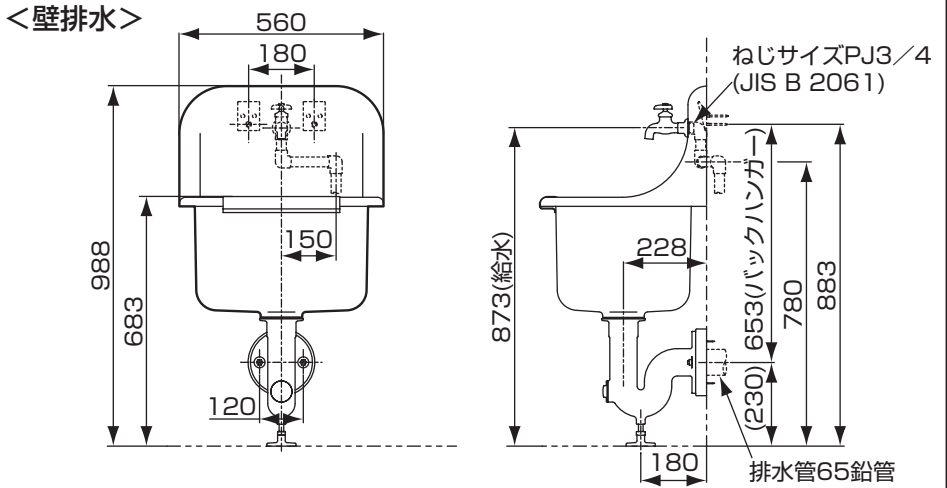
従来配管による場合

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

<床排水>



<壁排水>



取付方法

SK22Aには、床排水と壁排水があります。

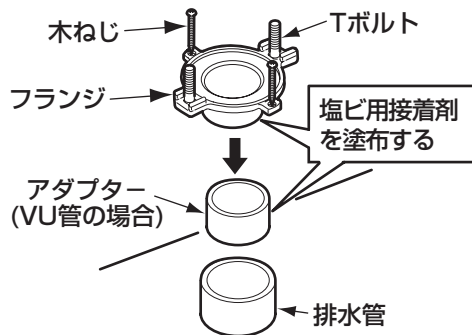
ここでは、床排水（Sトラップ）の場合の施工を中心に壁排水についても説明します。壁排水の場合は、壁排水（Pトラップ）の場合の施工方法をご覧ください。また、給水接続については、施工の容易な専用給水ホース（TN114X）による方法と管材を利用する従来配管による方法とがあります。

施工の容易な専用給水ホースによる施工を中心に説明します。

1 -A 仮固定＜床排水（塩ビ管用）（Sトラップの場合）＞

- ①排水管、フランジ差し込み部に塩ビ用接着剤を塗布する。Tボルトをはめた状態で、フランジを排水管へ差し込む。木ねじ2本でフランジを固定する。

※VU管の場合、フランジに塩ビ用接着剤を塗布し、同梱のアダプターを接着してください。



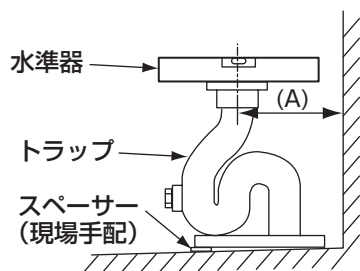
⚠ 注意



必ず実行

フランジ本体と塩ビ排水管のはめあいがゆるい場合は、必ず高粘度タイプの接着剤(HH05062)を使用する。一般の接着剤を使用すると水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- ②トラップを仮据えし、排水口上面が水平になっているか、また、排水口中心が(A)寸法にあっていないかを確認する。



⚠ 注意



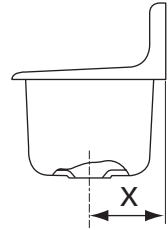
必ず実行

トラップの排水口上面が傾いている場合は、スペーサー(現場手配)を挟み、水平にする。トラップの排水口上面が傾いていると、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

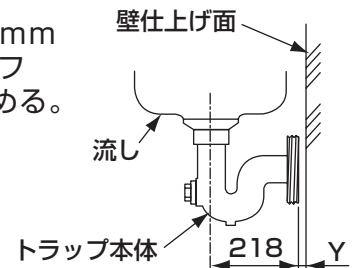
※床取り付け用の木ねじ位置を確認し、下穴の処理を行います。

1 -B 仮固定＜壁排水（鉛管用）（Pトラップの場合）＞

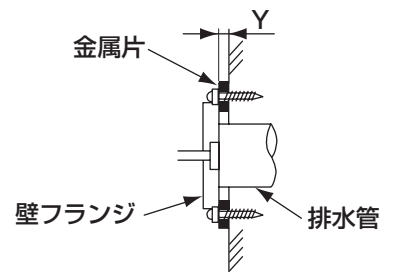
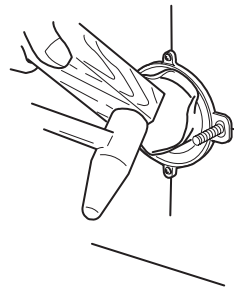
- ①陶器寸法を考慮して壁仕上げ面から流しの排水口までの寸法(X)を実測する。



- ②実測値(X)よりトラップ本体218mmを差し引き、壁仕上げ面とトラップフランジ先端部までの寸法(Y)を求める。

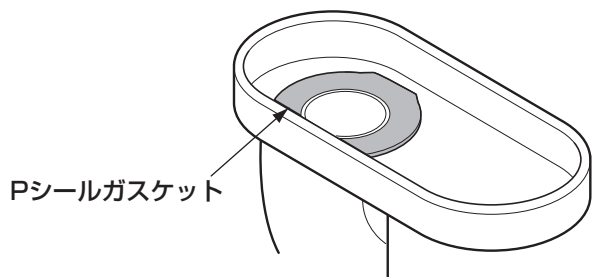


- ③排水管を壁フランジ面から15mmの位置で切断し、付属のフランジにボルトを差し込んで排水管にはめ込み木ねじで壁固定する。このとき、壁とフランジの間にY寸法分の金属片を挟んでおく。次に排水管を壁フランジに沿わせて十分広げ、排水管外周をはんだ付けする。

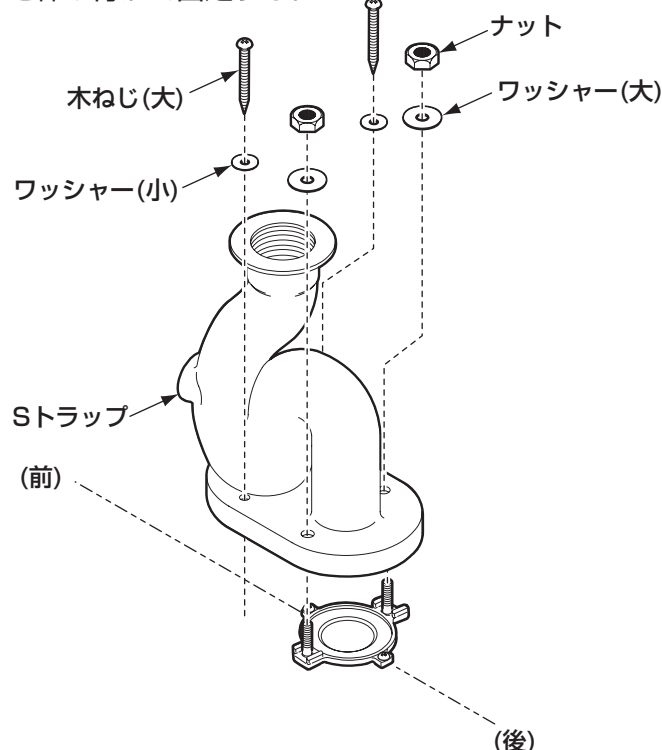


2 -A 本固定＜床排水（塩ビ管用）（Sトラップの場合）＞

トラップ排水口外周のごみや水分を取り除き、排水口外周部にPシールガasketをはめ込む。

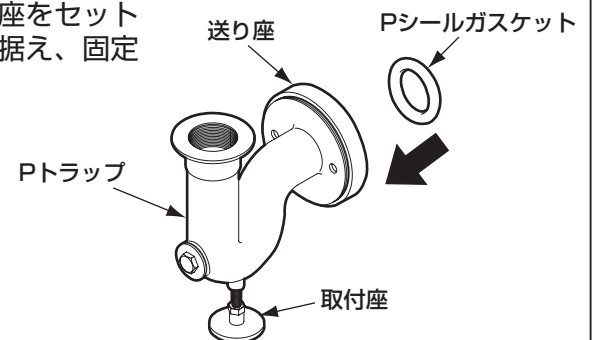


あとから動かすことのないよう、トラップを所定の位置に据え、ナットおよび取り付け用木ねじを締め付けて固定する。



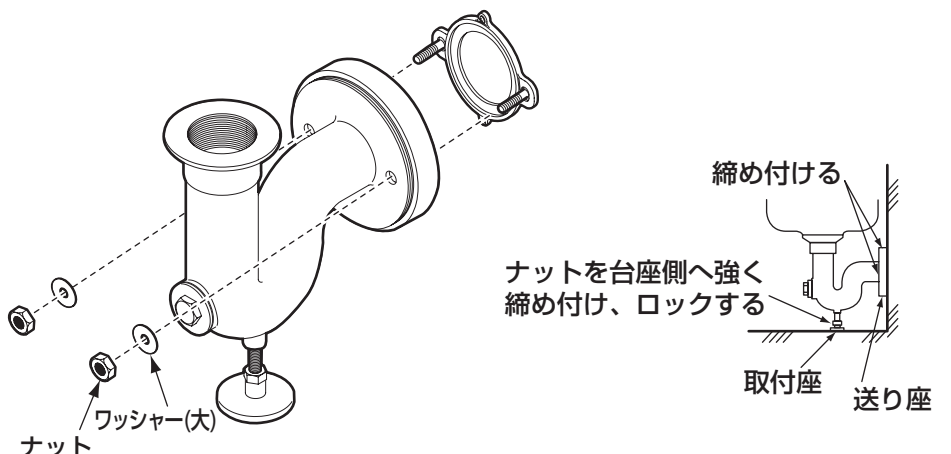
2 -B 仮固定＜壁排水（鉛管用）（Pトラップの場合）＞

トラップ排水口外周のごみや水分を取り除き、排水口外周部にPシールガasketをはめ込む。送り座と取付座をセットしてトラップを所定の位置に据え、固定する。



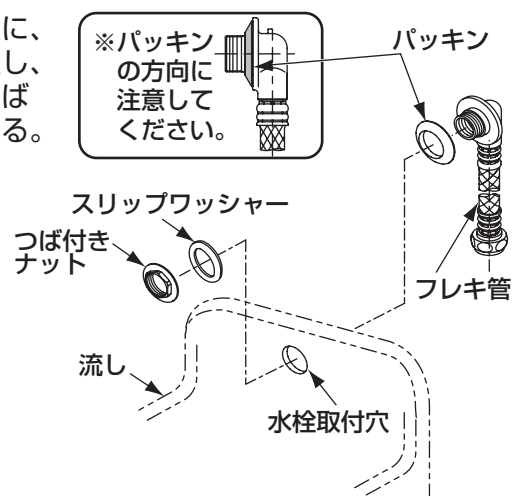
注 意

Pシールガasketを壁フランジ側にはめてからトラップを取り付けると、Pシールガasketが排水管内にはみ出し、排水を阻害するおそれがありますので必ずトラップ側にはめるようにしてください。



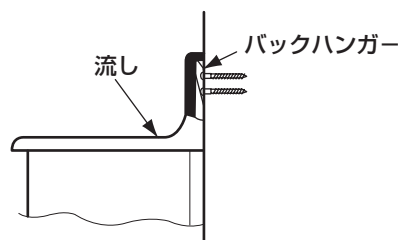
③ フレキ管固定

流し（陶器）本体の水栓取付穴に、パッキンを付けたフレキ管を通し、スリップワッシャーを入れたつば付きナットで締め付けて固定する。



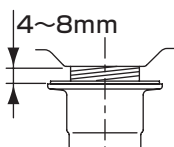
④ -1 バックハンガー固定

バックハンガーを長穴部で仮固定後、バックハンガーに流し（陶器）を掛け、トラップと陶器排水口のすき間を確認する。このすき間が4～8mmになるように、バックハンガー位置を調整し、本固定して流しを掛ける。ガタツキがないことと、再度トラップと陶器排水口のすき間が4～8mmになっているか確認する。



注意

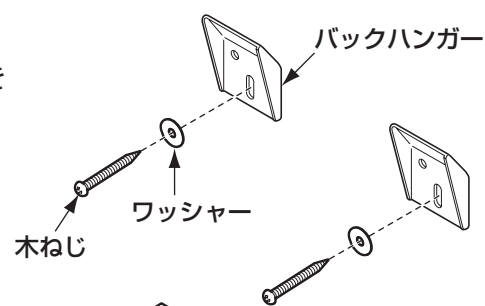
流し下端とトラップ上面（発泡パッキンを除く）のすき間は4～8mmにしてください。



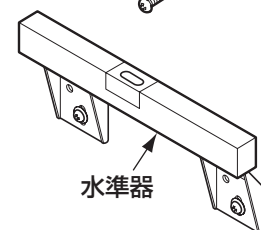
④ -2 バックハンガー固定（つづき）

[バックハンガーの取付方法]

①初めに、長穴センターに穴あけを行い、長穴のみ仮止めする。

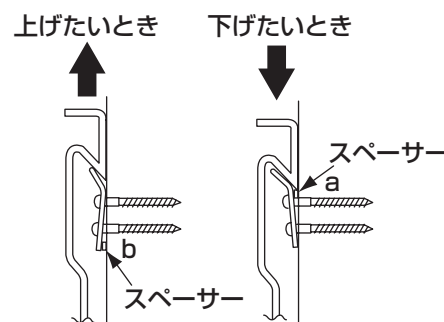


②水準器で水平を確認する。

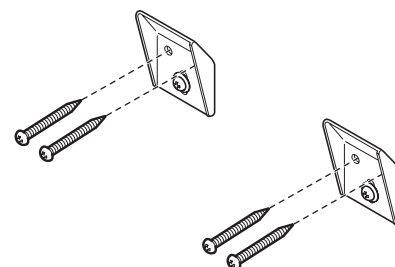


③流しをバックハンガーに仮のせをして、商品設置時の水平を確認する。

※所定の位置に取り付かない場合
バックハンガーの木ねじをゆるめ、
上げたいときは右図下部(b)、
下げたいときは右図上部(a)と
壁との間にスペーサーを挟んで
調節してください。



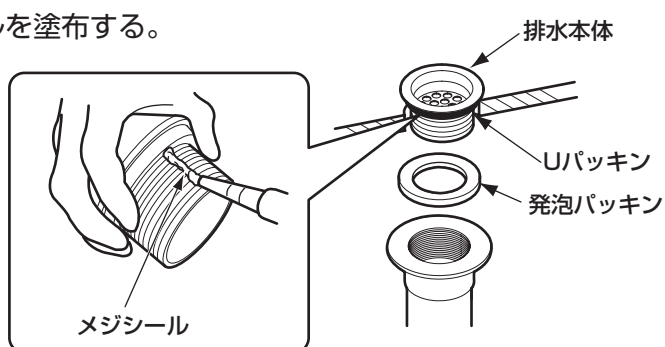
④流しを外してバックハンガーの上側の穴をあけ、本固定する。



⑤再度、流しを掛ける。

⑤ 本体固定

①接合部にメジシールを塗布する。



⚠ 注意



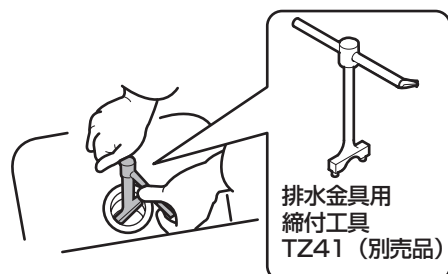
必ず実行

メジシールを塗布する

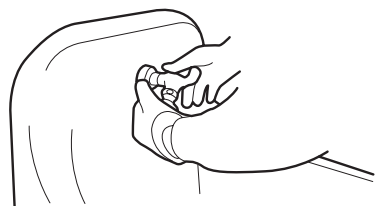
メジシールを塗布しないと、排水本体を強く締め付けてもねじを伝わって水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

②流しの槽内から排水本体を締め付けて固定する。

※排水金具用締め付け工具（TZ41：別売品）を使用すると締め付けが容易に行えます。



③水栓を取り付け、最後に水栓送り座を陶器面へ十分締め付ける。

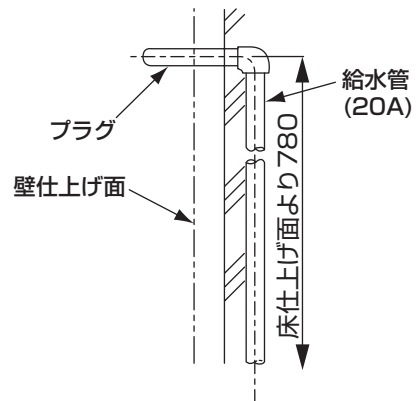


取り付け完了後の確認と清掃

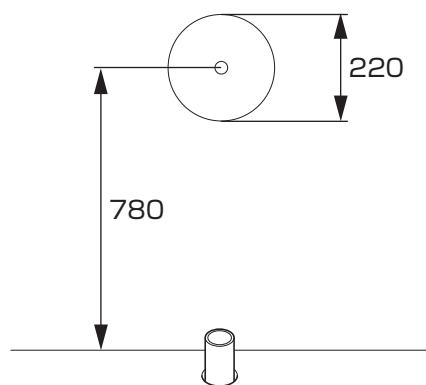
- 流しとバックハンガーが確実にセットされていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 商品について汚れ（静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

【参考】給水仕込み位置をセンターにしておく場合

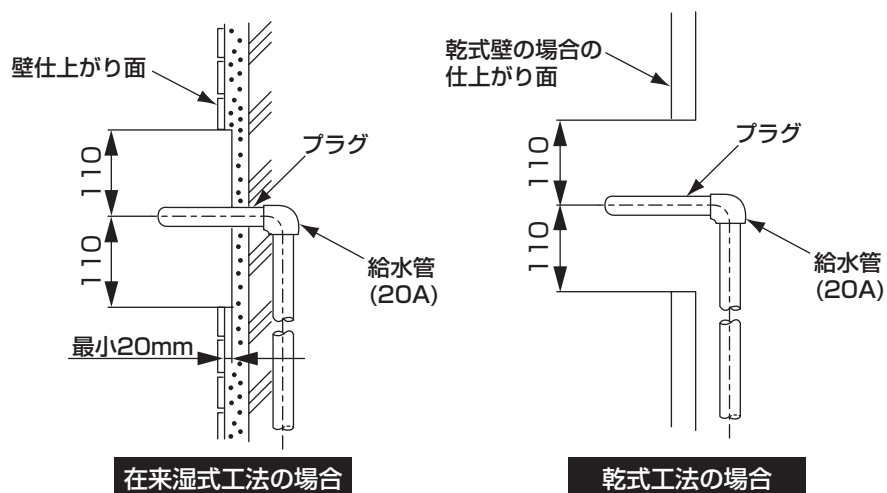
- ①器具の中心線上に、床から780mmの高さまで給水管(20A)を立ち上げ、プラグをしておく。



- ②給水管の取り出し口の周り(半径約110mm)は壁仕上りしないように、下準備しておく。



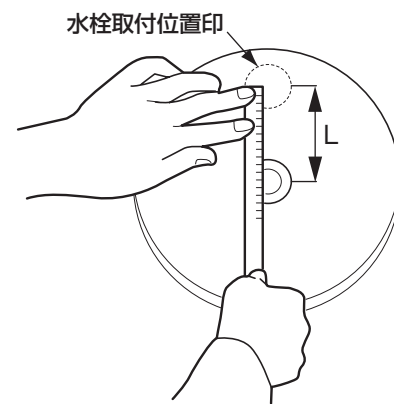
- ③壁仕上り面まで、最小20mmは凹状になるようにする。



- ④水栓取付穴の位置をけがく。

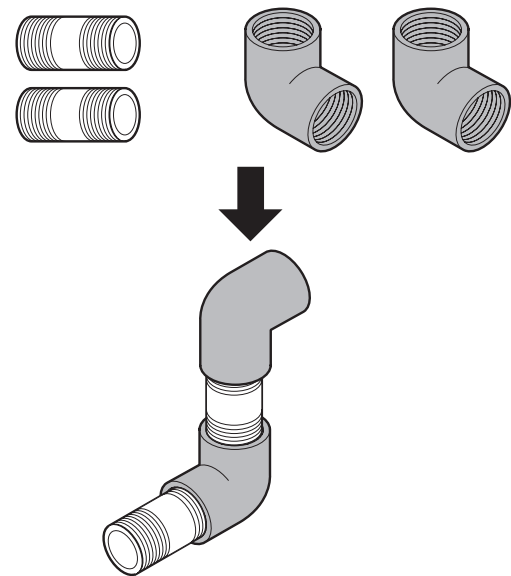


- ⑤給水管の取り出し位置から、流しの水栓取付穴の印までの寸法(L)を実測する。(標準は93mm)

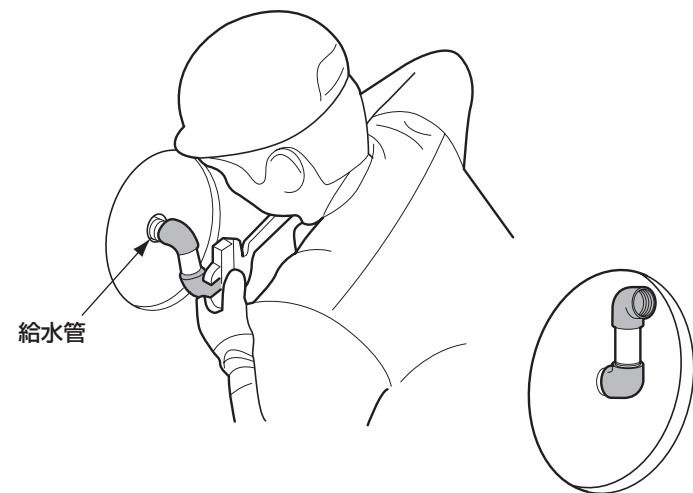


※乾式工法の場合は、仮置きした陶器と給水穴高さで給水管取り出し位置の距離を実測する。

- ⑥所定の長さの短管(ニップル)×2個、および給水栓ソケットエルボ・エルボを準備し、L寸法にあわせてセットする。



- ⑦給水管に連結管を回しながらねじ込む。



在来湿式工法の場合

- ⑧エルボの端面が、壁仕上り面から40～45mmまでに納まるようにする。

